

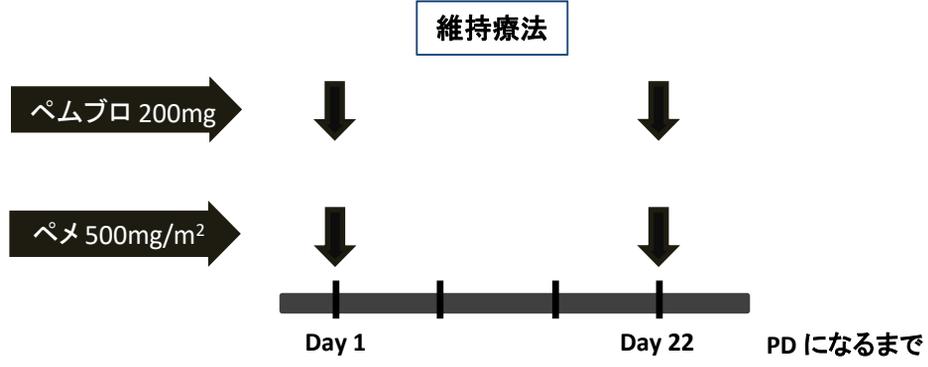
# ペムトレキセド + ペムブロリズマブ + GD 療法

PVCフリー  
 フィルターあり  
 催吐リスク: 軽度

細胞障害性分類  
 ペメ: 非壊死起因性  
 ペムブロ: 非壊死起因性

## レジメン概要

ペメ 500mg/m<sup>2</sup>、ペムブロ 200mg 併用投与は3週毎とする。  
 初回投与の1週以上前から最終投与後22日目までの間、  
 パンビタン末1g/day 連続内服する。  
 また、VB<sub>12</sub>(シアノコバラミン)を9週毎に筋注する。



## 処方

### Day 1

**Rp 01 点滴静注**  
 生食 50mL .....1V  
 ルートキープ 残廃棄可  
 \* フィルター付のルートを使用すること!

**Rp 02 点滴静注**  
 生食 100mL .....1V  
**キイトルーダ 200mg** 200mL/h

**Rp 03 点滴静注**  
 生食 50mL .....1本  
 500mL/h

**Rp 04 点滴静注**  
 グラニセトロンバック .....1袋  
 デキサート注 .....3.3mg  
 750mL/h

**Rp 05 点滴静注**  
 生食 100mL .....1V  
**ペムトレキセド 500mg/m<sup>2</sup>** 800mL/h

**Rp 06 点滴静注**  
 生食 50mL .....1V  
 \* 流し ポンプ外してクレンメ全開  
 終了後、抜去